

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：社会福祉課
担当名：医療保護・生活困窮者支援担当
内線：3271 (単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業		
S11	学習支援促進事業費				一般会計	民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	学習支援促進事業費		
事業期間	平成30年度～	根拠法令	生活困窮者自立支援法第1条・第4条・第7条				針路分野施策	02 0206	県民の暮らしの安心確保 生活の安心支援	SDGsゴール SDGsターゲット	1, 4, 10 1-4, 4-1, 10-4
1 事業概要 生活困窮世帯及び生活保護世帯の小学生・中学生・高校生に対して学習支援や生活支援などを行うことにより、貧困の連鎖の解消を目指す。 ジュニア・アスポート事業 土0千円 国庫補助金の増額に伴う財源更正			5 事業説明 (1)事業内容 ア ジュニア・アスポート事業 町村部において生活困窮・生活保護世帯の小学生支援事業を実施する。 ・教室では学習支援、生活支援、体験活動、健康支援を実施し、教室に来られない子供には訪問支援を行う。 ・地域団体、子ども食堂等とのネットワークの構築を図る。 イ ジュニア・アスポートコーディネーター事業 コーディネーターが、自治体等に対し教室立ち上げ支援、団体との連携支援、体験事業・ボランティア等コーディネート、食材調達支援、研修、訪問支援、各種助言等を行う。 ウ 中学生・高校生支援の充実・強化事業 ・学習支援員、スクールソーシャルワーカー、民生委員等との連携会議を開催する。 ・市に対して学習支援事業の利用率向上に向けた支援を行う。 エ 子供のオンライン学習フォローアップ事業 ・オンライン環境が整っている家庭や学習教室でタブレットによるオンライン学習を導入する。 ・オンライン環境が整っていない家庭には訪問指導の機会を増やし、タブレットの使い方を指導する。 (2)事業計画 ア～エ 委託により実施 (3)事業効果 ア 学習能力と非認知能力の向上。支援の手法や地域との連携体制を構築し、成果を発信。 イ 民間の活力を活用した困窮世帯の子供支援の体制づくり ウ 学習支援事業の利用率が向上し、高校中退率の引下げと大学進学率の向上が図られる。 エ ICTによる子供たちの学力格差の解消及びデジタル機器を駆使できる子供の育成 (4)補正予算の概要 ア ジュニア・アスポート事業における国庫補助金の増額に伴う財源更正								
2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2)											
3 地方財政措置の状況 地方交付税（単位費用） （細目）生活困窮者自立支援費 （細節）生活困窮者自立支援費											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 本庁 9,500千円×1.0人＝9,500千円											
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額	
		国庫支出金									
決定額	0	22,590							△22,590	93,790	
現計額	93,790	23,075							70,715		

事業内訳書

事業名	学習支援促進事業費		
単位事業名	ジュニア・アスポート事業	予算額	0千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 社会福祉費補助金	22,590	—	生活困窮者自立支援事業費補助金 補助率 1/2
一般財源	△22,590	—	
合計	0	—	